

24 春闘ニュース

発行元：県春闘共闘会議

2024/3/26 号

24国民春闘・回答状況

ユーコープ労組は1万円ベア

3月13日の指定日などに回答が示されてきています。

ユーコープ労組では、要求通りの「1万円のベースアップ」の回答が示され、正規職員だけでなく福祉専任職員やLパート職員についても、ベア1万円の回答を示しています。さらに、子会社ではバラつきがありますが、一部では1万円ベアの回答が示され、交渉によって妥結している子会社の支部もあります。

厳しいなかでもベア回答の引き出し

港湾労組は集団回答交渉を行い、昨年を下回る不十分な回答もありますが、昨年の上積み回答をさらに上回る回答を示すところもあり、今後個別交渉のなかで引き上げをめざしていきます。また、不当な回答に対して闘いを構えることにしています。

医労連の回答では、政府が「賃上げ分を含む報酬改定」としていたにもかかわらず、不透明さがあることから、「定昇のみ」の極めて不十分な回答が多くなっています。そうしたなかでも、めぐみ在宅クリニック労組は6月からベースアップのかいとうを引き出しています。

JMITUでも昨年並みの回答が多く、今後の交渉で上積みをめざします。福祉保育労では、市社協が2%（職種によっては2.2%）のベア回答を引き出し。要求・回答自体がこれからの職場も多く、保育園では入園児の確定を経て回答が示される職場もあります。

3・14 統一行動・桜木町駅

自らの経験をもとに訴え

3月14日の全国統一行動では、各職場でのとりくみとあわせて、桜木町駅での一日行動を実施しました。

早朝は15人が参加し、すべての職場・労働者の大幅賃上げをめざすことを訴え。「大企業は『満額回答』との報道もあるが、中小企業の労働者や非正規雇用労働者も含め、すべての労働者の大幅賃上げを実現しよう」などとアピール。

全労連・全国一般の古川さんは、非正規雇用で働く自らの経験を紹介し「組合に入っていないときは何も聞いてもらえなかったが、組合に加入して交渉し改善を実現している。組合に入って声をあげ要求を実現しましょう」と呼びかけました。出勤途上の労働者が次々とチラシ・ティッシュを受取り、約600セットは30分ほどですべて配布しチラシを追加して宣伝しました。



課題ごとにリレー宣伝

11:30 からは、春闘の重要課題である「いまずぐ全国一律最低賃金 1500 円以上」の宣伝を行い 13 人が参加。大きなパネルも出して注目されました。

12:30 からは神奈川労連女性センターが、「春闘でジェンダー平等の実現を」と訴え、特に男女の賃金格差の是正を求めてアピールしました。

14:00 からは、前日の一斉回答で厳しい回答が多かった、医療や介護、福祉などケア労働者の賃上げをめざし関連産別などから 14 人が参加しました。コロナ禍で大変な苦勞をし、人員不足が労働者の大きな負担になっている職場の実態を切々と語りながら、政府の責任で大幅賃上げを実現することなどを求めました。通行する方が話しかけてきて対話になる場面もありました。

16:00 からは、建設首都圏共闘に結集する、建設労連、国公、建交労、市従などの仲間が結集し、建設産業で働く仲間の賃金引上げ・人材確保などを訴えました。現場の仲間がマイクを握り、人手がいなくて大変な実態も語りながら、賃金引き上げや労働条件改善の必要性を切実にアピールしました。

18:00 からは、横浜市従と横浜労連の共同で集会・宣伝をとりくみ、60 人以上が参加して 1300 以上の宣伝部とを配布するなどしました。



横福協労組の門前スト

3月13日の集中回答をうけた翌14日の全国統一行動。医労連・横福協労組でも前日の回答をうけ、執行部のメンバーらが時限ストをおこない回答内容の報告と引き続き闘いをよびかける門前宣伝がおこなわれました。

横福協労組では組合員からの切実な声をうけ、5万円以上の賃上げを要求していましたが、法人からは、「処遇改善について検討します」と賃上げ回答はしませんでした。

この間、医療労働者からの切実な声と運動により、国は今回の診療報酬の改定において労働者のベースアップを目的とした加算をおこないました。これについて法人は、この加算を原資に賃上げしたいとの意向は示すものの、「報酬制度の裏づけで支給検討しているため、支給対象が全職種に及ばない場合は、ベースアップは約束できない」と賃上げの明言を避けています。

これに対し労組は、報酬改定頼みでなく法人の努力も含めベースアップをおこなうべきと主張しています。現に法人には一定の現預金が確保されており、これらを活用すればベースアップは可能です。

組合員からは生活の苦しさや人員不足の深刻さを訴える声が多く上がっています。横福協労組ではこれらの声を背景に引き続きベースアップ実現のために闘う決意です。3月下旬の代議員会では昨年以上の全ストの提起をおこなうこととしています。

またこの日に、執行部のメンバーは門前宣伝のあとに近隣の病院や介護事業所を訪問し、医療・看護の大幅増員を求める署名を持って訪問しました。訪問先では「人手いなくて本当に困っているよ」「やっぱり賃金上げないとね。人が集まらないよ」と対話になり快く応じてくれました。



自動車パレード寄稿

タクシー、バス、トラック、港湾貨物輸送等に係る労働者で組織する神奈川県交通運輸労働組合共闘会議は3月3日（日）午前横濱港山下ふ頭にて「2024年春闘勝利、大軍拡・増税は許さない！港湾・交通運輸産業で大幅賃上げを勝ち取ろう！」をスローガンに自動車パレードを開催しました。パレード前の集会では富松議長（自交総連）の挨拶の下、交通運輸に係る労働者の大幅賃上げと、それに必要な料金収受の徹底を目指すとともに、神奈川県三浦地区で実証実験が予定されているライドシェアは公共交通の安心と安全を脅かすとして中止を求める意思統一を行いました。パレードには宣伝カー2台、ダンプ2台、海上コンテナ2台、タクシー8台、自家用車3台の計19台が参加し、2梯団に分かれみなとみらい地区を1周するルートで市民にアピールしました。

